

総評

数学がたいへん難しく、理科と社会も難しめの出題だったため、5教科合計の平均点も低くなりました。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは半分の価値しかありません。自分のミス傾向や弱点に気づき、間違えた問題の解き直しをして、克服してこそ受けた価値があるのです。また、正解した問題であっても、解説を読んで自分のやり方とはちがう解き方や考え方に気付くこともあります。新たな解き方や考え方を身につければ、得意分野をさらに伸ばすこともできます。

入試では、不注意によるミスをどれだけ減らし、得意分野でどれだけ得点を積み上げられるかが重要なポイントになります。今回の問題を存分に活用して、得点力アップに役立ててください。

国語

標準的な難易度の出題となりました。

㊦は、問二(2)、問三が難しかったようです。問三の「つきゅう」には「追求」「追及」「追究」といった同音異義語があります。同音異義語は漢字の書きだけでなく、それぞれの意味もしっかりと理解しましょう。㊧の問四は、「美しさを捉えて」「美しさを意識して」など、読み取ったことを自分でまとめる必要がありました。また、解答欄に示された表現とのつながりにも注意しましょう。㊨は、問三と問四が難しかったようです。問四は、「菓の作り方」の要件が抜けている解答が散見されました。説明が不足していないか、解答を見直すことも大切です。㊩の問二は、割合にふれていない解答が多く見られました。「七割以上」「70%以上」などの表現を用いて、正しく説明することが求められました。

数学

たいへん難しい出題でした。前半の㊲、㊳の得点率が予想を下回り、またこれらの大問に時間をとられたためか、㊴、㊵も得点率がのびませんでした。

㊲の問3の因数分解では、まずは式の形をよく見ることが基本です。㊳の問2(1)、言葉によって説明する問題でしたが、説明が不十分な解答が多かったです。ヒストグラムや箱ひげ図から確実に言えることに着目しましょう。㊴は、問題文の【操作】をじゅうぶんに理解できていない人が多かったようです。㊵と㊶は、「見通し」や「会話」でヒントが与えられるタイプの応用問題です。穴埋めの地の文をよく読み、内容をとらえましょう。㊶問2のアは、合同に必要な角を答えればよいので簡単なはずですが、㊷の問2(1)、回転体の体積は入試でも頻出です。公式を覚えましょう。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野は、㊸の世界地理の得点率が低くなりました。問2は、資料の判別が難しかったようです。教科書のグラフをもう一度よく確認しましょう。また、問4(1)は、「輸出額が何倍になったか」を問う出題でしたが、「輸出割合が何倍になったか」と間違えて解答した方が多かったようです。試験問題をよく読みましょう。

歴史分野は、㊹の古代から近世までの内容で得点率が低くなりました。問2(1)、(2)の承久の乱や応仁の乱、問4の三角貿易に関する問題は、内容まで正確に理解できている方が少なかったようです。間違えた問題はそのままにせず、解説や教科書、資料集などを参考にして、もう一度よく解き直しをして、次回の試験の際に確実に得点できるようにしましょう。

理科

難易度の高い出題でした。

㊺は基本的な内容の出題です。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習して、基礎固めをしておきましょう。㊻の生物の分類は、問3の正答率が低かったものの、全体によくできていたようです。㊼の状態変化は、前半の知識中心の問題はよくできていましたが、後半の計算・思考問題は難しかったようです。㊽の静電気と電流は、特に難しい問題はなかったものの、全体に正答率が伸びませんでした。㊾は、実験や観察の結果を読み取って思考する問題が多く、全体に難しかったようです。

暗記をして、知識を蓄えるだけでは正解できる問題は多くありません。入試まで時間はありますので、実践的な演習を繰り返し行って得点力アップを目指しましょう。

英語

標準的な難易度の出題となりました。

㊿のリスニングは比較的得点できていました。今春に行われた北海道の公立高校入試では、リスニングの配点が全体の3分の1以上を占めており、以前より重要度が増しています。また、問1、問2は、英文が一度しか放送されない問題ですので、聞き逃さないように、集中して取り組みましょう。㊿C問3(1)は、得点率が最も低くなりました。「By」のあとに空欄があることに着目し、「using」と動名詞にできるかどうかポイントでした。今回の㊿の英作文は、さほど難しい出題ではなかったと思います。減点となった場合は、冠詞、三単現、複数形などの不備がないか、しっかり見直しておきましょう。

今後は、これまでに学習した文法を復習しながら、入試形式の実践的な問題にも積極的に取り組みましょう。